

放送業界 / 気象キャスター

株式会社ウイング / NHK気象キャスター

三宅 惇子 さん

大阪府樟蔭高等学校出身
2005年総合情報学部卒業



「好き」が「新しい好き」を届けてくれる。
興味を持ったら積極的に挑戦しています。

気象に関するさまざまなデータを収集・解析し、分かりやすく伝えるのが気象予報士である三宅惇子さんの仕事です。「ニュースチェック11」の気象キャスターに抜擢され、今年の春からは大阪を離れ、新天地のNHK放送センターで勤務しています。

中学校、高校時代はダンス部に所属し、人前で表現することの楽しさを知ったという三宅さん。将来はアーティストになるという夢を持ち、関西大学に入学しました。そんな三宅さんが今の職業と出会ったきっかけは、その大好きな歌とダンスの夢を断念したことでした。夢中になれる別の生き方を探る中、ふと自分の作詞ノートを見返すと、そこには空や雲、天気について書かれた詩がたくさんありました。あらためて空が好きだったと気付いた三宅さんは、新たな自己表現の場として、気象予報士を目指すようになったそうです。

そこから猛勉強の日々。3年半、7回目の挑戦にしてようやく合格できたときは、一生の仕事にしようと強く心に決めたと言います。「歌とダンスを諦めてしまった私。同じことを繰り返すのは嫌で、気象予報士への挑戦は諦めませんでした」。

卒業後数年たって、今の仕事と巡り合った三宅さんは自身の経験を踏まえ、「大学で学んだパソコン実習や街頭インタビューなど、今の仕事に役立っています。自分の夢とは直接関係ないようなことでも、さまざまな挑戦をして、自分の可能性を広げてほしい。そして、4年間で自分の大好きなものをじっくりと見極めてほしい」と熱いメッセージをくれました。

ある1日のスケジュール

4:00 出番。その後、天気解読・打ち合わせ・メイク
6:59 番組出演
7:45 番組出演
8:00 朝食
9:00 リハーサル
11:30 番組出演
13:30 退社

(※NHK大阪放送局勤務時)



毎日の天気を予測するための天気図のほか、尺を計るためのストップウォッチが必需品。

Weather Broadcaster